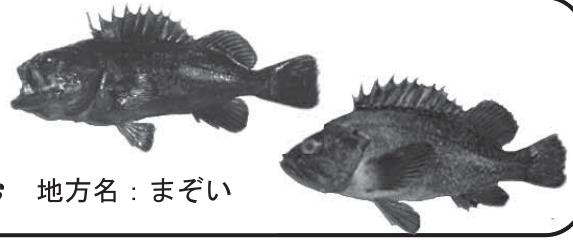


クロソイ *Sebastes schlegelii*

キツネメバル *Sebastes vulpes* 地方名：まぞい



生態

[クロソイ]

- ①寿命：10 年以上
- ②成熟：オス 3 歳以上
- ③繁殖期：12 月～1 月に交尾し 6 月～7 月に産仔
- ④分布：日本各地、特に北日本に多い。朝鮮半島、中国にも分布。
- ⑤生態：卵胎生魚。成魚は沖合の岩礁域に生息。

[キツネメバル]

- ①寿命：10 年以上
- ②成熟：オス 4 歳
- ③繁殖期：11 月～12 月に交尾し 5 月～6 月に産仔
- ④分布：日本海沿岸、神奈川県以北の太平洋。青森県では全域に分布。
- ⑤生態：卵胎生魚。成魚は岩礁域に生息。

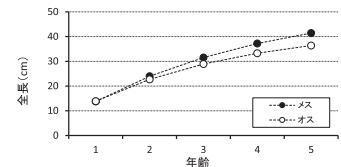


図 青森県クロソイの成長
出典：山内（1994）H 5 年度放流技術開発事業報告書クロソイ班 77-89.

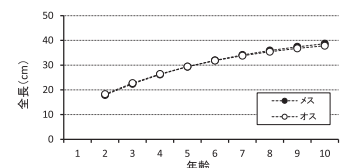


図 青森県キツネメバルの成長
出典：吉田ら（2020）H30 年度青産技セ水総研事業報告書 398-402.

主な漁業

両種とも定置網、簗、一本釣等で漁獲される。クロソイは 1 歳、キツネメバルは 3 歳から漁獲される。なお、キツネメバルにはタヌキメバルも含まれるが混入率は不明。

漁獲の動向と水準

青森県海面漁業に関する調査結果書では「そい類」としてクロソイ、キツネメバル等は一括で集計され、両種の長期間の漁獲データはない。そい類の漁獲量は 1976 年の 250 トンから 1989 年の 111 トンまで減少した後、1990 年以降増減しながら増加傾向で、2018 年に 280 トンを記録したが、2019 年以降減少から横ばい傾向で、2024 年の漁獲量は 205 トンであった。

2024 年のクロソイとキツネメバルの漁獲水準は、青森県産業技術センター水産総合研究所が調べた 2001 年以降の県内主要漁協の漁獲量の最高値と最低値との間を 3 等分し、上から高位、中位、低位とすると、クロソイは中位、キツネメバルは高位であった。

[クロソイ]



[キツネメバル]

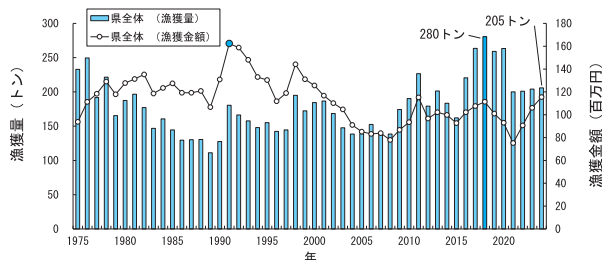
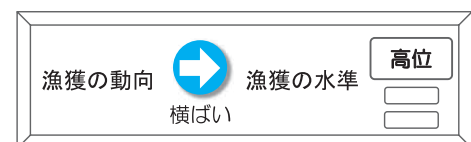


図 青森県におけるそい類の漁獲量及び漁獲金額の推移

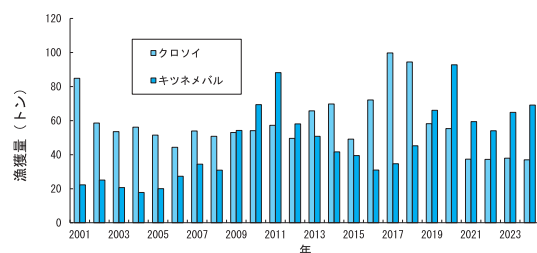


図 主要漁協のクロソイ、キツネメバルの漁獲量（水総研調べ）
※2024 年は暫定値

資源を上手に利用するために

- 資源管理計画（風合瀬漁協 1995 年 3 月）
- ・クロソイについて 15cm 未満個体の再放流、荷受け制限を定めた。
- ☆上記のような小型魚の漁獲を自粛する取組を継続することが必要である。

トピックス

公益社団法人青森県栽培漁業振興協会と青森県産業技術センター水産総合研究所はキツネメバルの標識放流と市場調査を行っている。2024 年 12 月に北金ヶ沢漁港から右腹鰭を抜去した稚魚 1.0 万尾を放流した。